

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第3区分

【発行日】平成28年10月13日(2016.10.13)

【公表番号】特表2015-534777(P2015-534777A)

【公表日】平成27年12月3日(2015.12.3)

【年通号数】公開・登録公報2015-075

【出願番号】特願2015-534585(P2015-534585)

【国際特許分類】

H 04 N 19/70 (2014.01)

H 04 N 19/112 (2014.01)

H 04 N 19/16 (2014.01)

H 04 N 19/172 (2014.01)

【F I】

H 04 N 19/70

H 04 N 19/112

H 04 N 19/16

H 04 N 19/172

【手続補正書】

【提出日】平成28年8月26日(2016.8.26)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

デコーダ・デバイスにより実行される方法であって、

ビットストリーム又はビットストリーム部分における1以上のピクチャを受信する受信ステップであって、前記ビットストリーム又は前記ビットストリーム部分は、前記1以上のピクチャのソース・スキャン・タイプを識別するための1以上のシンタックス要素をさらに含み、前記1以上のシンタックス要素は、少なくとも、前記1以上のピクチャがインターレース・スキャン・タイプであることを示す状態、前記1以上のピクチャがプログレッシブ・スキャン・タイプであることを示す状態、及び前記1以上のピクチャが未知のソース・スキャン・タイプであることを示す状態を有する、受信ステップと、

前記1以上のピクチャを復号化するステップと、

前記1以上のシンタックス要素において識別されたソース・スキャン・タイプに従つて、前記の復号化した1以上のピクチャを処理するステップと、
を含む、方法。

【請求項2】

前記1以上のシンタックス要素は、前記1以上のピクチャがインターレース・タイプであるかどうかを示す第1のフラグと、前記1以上のピクチャがプログレッシブ・タイプであるかどうかを示す第2のフラグと、を含む、請求項1記載の方法。

【請求項3】

前記1以上のシンタックス要素は、単一のシンタックス要素を含む、請求項1記載の方法。

【請求項4】

前記1以上のシンタックス要素は、前記1以上のピクチャがプログレッシブ・タイプであるかどうかを示す第1のフラグと、前記第1のフラグの値の信頼性レベルを示す、1以

上のビットの第 2 のシンタックス要素と、を含む、請求項 1 記載の方法。

【請求項 5】

前記ビットストリーム又は前記ビットストリーム部分は、前記 1 以上のピクチャのうちの 1 以上が複製ピクチャであるかどうかを示す複製ピクチャ・フラグをさらに含む、請求項 1 記載の方法。

【請求項 6】

前記ビットストリーム又は前記ビットストリーム部分は、前記 1 以上のピクチャのうちの 1 以上がビデオ・タイプの混合を含むかどうかを示す混合データ・フラグをさらに含む、請求項 1 記載の方法。

【請求項 7】

デコーダ・デバイスにより実行される方法であって、
ビットストリーム又はビットストリーム部分における 1 以上のピクチャを受信する受信ステップであって、前記ビットストリーム又は前記ビットストリーム部分は、前記 1 以上のピクチャのソース・スキャン情報を示す付加拡張情報（S E I）メッセージをさらに含み、前記ソース・スキャン情報は、複数の利用可能なソース・スキャン・タイプのうちの 1 つであり、前記 1 以上のピクチャのソース・スキャン・タイプが不確定であることを示す、受信ステップと、

前記 1 以上のピクチャを復号化するステップと、
前記 S E I メッセージに従って、前記の復号化した 1 以上のピクチャを処理するステップと、

を含む、方法。

【請求項 8】

前記複数の利用可能なソース・スキャン・タイプは、プログレッシブ・スキャン・タイプ及びインタレース・スキャン・タイプをさらに含む、請求項 7 記載の方法。